

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【公表番号】特表 2006-516776 (P2006-516776A)

【公表日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【年通号数】公開・登録公報 2006-026

【出願番号】特願 2006-501572 (P2006-501572)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/01 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/01 3 1 0 A

G 0 6 F 3/048 6 2 0

G 0 6 F 3/048 6 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

図 2 は、自動車内の温度調節器のための本発明の制御装置 10 であって、作動要素 12 と、作動要素 12 と接続されかつ自由にプログラムすることができる表示装置 18 と、ともにオペレータアイランド 28 に組み込まれている制御装置 10 を示す。図示する典型的な実施態様では、表示要素 18 の表示面は、制御装置 10 の異なる機能を表すことができる 5 個の表示フィールド 20 及び 26 に分割されている。表示フィールド 20 は、対応する機能を英数字記号の形態のグラフィックオブジェクト 24 として表示することができる。表示フィールド 20 は、いわゆるソフトキーを形成する。これらは、ソフトウェアによって所望のやり方で割り当て、変更することができる多機能制御要素である。図 2 に示すように、ステアリングホイール、ボディ、フロアスペース及び座席のための温度制御がこれらの表示フィールド 20 に割り当てられ、各表示フィールド 20 の区域で作動要素 12 を押すことによって選択し、起動することができる。表示フィールド 20 に対応する機能の一つが起動されると、その対応する機能が 1 個のさらなる表示フィールド 26 内でグラフィックオブジェクトによって視覚化される。図 2 に示す典型的な実施態様では、起動された機能は、座席ヒータのための温度制御を表している。所望の温度は、ノブとして具現化され、オペレータアイランド 28 に位置する操作要素 32 によって変更することができる。対応する表示フィールド 26 の区域は、操作要素 32 に隣接する作動要素 12 の縁まで延びて、そのため、操作要素 32 を、ユーザによって選択された対応する機能と間違いなく対応させることができるようになっている。オペレータアイランド 28 は、プッシュボタンとして具現化された 3 個のさらなる操作要素 30 を含み、これらのプッシュボタンにも、対応する切り替え機能を割り当てることができる。本発明の制御装置 10 は、比較的低いコストで高度な操作安全性及びフレキシブルさを提供し、それが多くの用途を開拓する。